講義名	基礎心理学（１年生用）				
科目区分	教養一般				
担当教員	福田　哲也				
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 ２時限		授業形態		
	2020年度 人間社会学部 人間健康学科／2020年度 人間社会学部 観光学科／2020年度 人間社会学部 人間社会学科／ 2020年度 経済学部 経済情報学科／2020年度 経済学部 経済学科／2020年度 商学部 マーケティング学科／ 2020年度 商学部 経営学科／2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツマネジメントコース／2019年度 人				
履修開始年次	１年生	単位数	2	備考	

主題と概要

心理学は，人の心の働きや心に関わる現象を科学的に検討する学問である。そして心理学の領域は非常に多岐にわたる。この授業では，心理学の様々な領域の中でも生理心理学，知覚心理学，認知心理学，学習心理学について概観する。それらを通して，心理学に関する基礎知識や考え方，人の心の特徴を理解する事を目的とする。

到達目標

①脳と心の関係について説明できる。
②人の情報処理過程について説明できる。
③学習による行動変容について説明できる。

提出課題

各授業回では，コメントシートを配布する。コメントシートには授業に対するコメントや質問を記載し，提出することを求める。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

コメントシートに記載された質問，当該授業回に関する要望（再度の説明や関連内容に関する説明の要望）に対しては，次回授業時に受講生全体に対して返答する。

評価の基準

受講態度・毎回のコメントシート（30%）と試験（70%）により総合的に評価する。
試験は中間試験と最終試験の2回実施する。

履修にあたっての注意・助言他

・必要に応じて教員の説明を自分でノートや資料にメモすることが求められる。
・心理学という学問をより理解する上では，心理学概論の受講を推奨する。
・認定心理士の資格取得を希望する場合は，単位習得が必要な科目である。

教科書

プリント資料及び参考文献

各回で資料を配布する。

・参考文献
無藤 隆・森 敏昭・遠藤 由美・玉瀬 耕治（2018）．心理学 新版　有斐閣
サトウ タツヤ・渡邊 芳之（2019）．心理学・入門：心理学はこんなに面白い　有斐閣

授業計画

1. オリエンテーション：心理学とは
2. 心と脳①：神経細胞，脳波
3. 心と脳②：神経系の構造と機能，大脳半球の構造，脳の発達と老化
4. 感覚と知覚①：感覚の仕組み，形・大きさ・奥行きの知覚
5. 感覚と知覚②：運動の知覚，知覚と注意
6. 記憶①：記憶の過程，短期記憶・長期記憶
7. 記憶②：忘却，日常生活における記憶
8. 授業前半の振り返り
9. 学習①：学習の基本形，学習理論
10. 学習②：様々な学習，学習の転移
11. 言語①：文と文章の理解，スキーマ
12. 言語②：言語による表現，言語と思考，言語の習得
13. 思考①：問題解決と思考，帰納的推論，演繹的推論
14. 思考②：意思決定，創造的思考
15. 授業後半の振り返り

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）
	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート
	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション
	カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

・各授業回で配布された資料を確認し，用語の意味や理論を自らが説明できるようにしておくこと（各回につき60分）
・授業内で紹介された心理学に関する概念や現象が，自身の日常生活とどのように関わっているのかを考え，説明できるようにしておくこと（各回につき90分）
・参考文献をはじめとした授業に関連する文献を図書館やインターネット上から自ら見つけだし，熟読すること（各回につき90分）

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考